

各 位

会社名 長谷川香料株式会社 代表者名 取締役社長 近藤 隆彦 (コード番号 4958 東証第1部) 問合せ先 取締役兼副社長執行役員 海野 隆雄 (TEL.03-3241-1151)

当社連結子会社による FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC の買収に関するお知らせ

当社の連結子会社である T. HASEGAWA U.S.A., INC. (以下、「THUSA 社」という) は、平成29年6月30日(米国現地時間) に、米国において食品及び飲料用香料の製造販売を行っている FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC(以下、「FIH社」という) の既存株主と株式売買契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。なお、本買収により当社の連結の範囲に FIH 社を含めることとなります。

記

1. 買収の理由

当社グループは、資源を効率的に投入し、着実なグローバル展開を図るという基本戦略のもと、中国、東南アジアを中心としたアジア地域及び米国に集中的に資源を投下しております。その中でも、米国市場は、先進国の中では人口が安定的に推移し、政治体制・法制度も安定しており、魅力ある市場と位置付けております。

当社の連結子会社である THUSA 社は、1978 年に北米地域の拠点として米国に設立され、スナック菓子、ドレッシング、調味料等に使用される塩味の効いたセイボリーフレーバー向けの香料を中心に製造販売し、業績を拡大してまいりました。また、2012 年には、市場規模の大きい飲料分野への参入を決め、研究開発及び営業活動に注力し、業績は堅調に推移しております。

FIH社は、2014年に、米国において食品及び飲料用香料の製造販売を行っている Affinity Flavors, Inc. (アフィニティ・フレーバーズ・インク。以下、「Affinity 社」という) (1995年設立) を吸収合併いたしました。その後、Affinity 社の商号を継続して使用し、米国において今後も成長が見込まれる健康分野を中心とした食品及び飲料用香料の製造販売に従事して急成長を続けております。また、最適な生産体制構築等による生産効率化、徹底したコストコントロールなどにより高収益体質を実現しております。

THUSA 社は、FIH 社と顧客網が重複せず相互補完性が高いこと、並びに買収により販売面や製造面でのシナジー効果が期待できることから、米国市場での今後の更なる成長を目的に FIH 社を買収することといたしました。

2. THUSA 社の概要

(1)名 称	T. HASEGAWA U.S.A., INC.
(2)所 在 地	米国 カリフォルニア州
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Mark E. Bair
(4)事業内容	各種香料の製造及び販売、各種香料・原材料・食品加工の調査
(5)資 本 金	19,700 千米ドル (2,627 百万円)
(6) 設 立 年	1978 年
(7) 大株主及び持株比率	長谷川香料株式会社 100.0%

3. FIH 社の概要

S, LLC		
范		
3)		
Fund, LLC (約 36.66%) LLC (約 31.67%) (約 31.67%)		
当事項はありません。		
当事項はありません。		
当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近2年間の経営成績及び財政状態(単位:千米ドル)		
2016年12月期		
円) 9,039(約994百万円)		
円) 1,742(約191百万円)		
円) 930(約 102 百万円)		
円) 5,612 (約 617 百万円)		

4. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は、3. (7) に記載の株主3社となりますが、先方の意向により、詳細につきましては非開示とさせていただきます。

5. 取得株式数および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一株(所有割合一%)
(2)取 得 株 式 数	849, 000 株
(3)取 得 価 額	約 55,000 千米ドル(約 6,050 百万円)
(4) 異動後の所有株式数	849,000 株(THUSA 社の所有割合 100.0%)

※取得価額につきましては、当社及び関連当事者に対して特別の利害関係を有さない第三者機関によるデューデリジェンスを実施しております。FIH社の経営成績及び財政状態の実績、今後の成長性等を考慮し、2017年12月期見込みを含む今後6年間の利益計画を策定した上で、DCF分析等の各種価値分析手法による企業価値評価等を総合的に勘案し、適正な金額と判断しております。

6. 日程

契約締結日 平成29年6月30日(米国現地時間) 株式譲渡実行日 平成29年6月30日(米国現地時間)

7. 今後の見通し

平成29年9月期の連結業績に与える影響については軽微と考えておりますが、現在精査中であり、業績予想の修正を行う必要が生じましたら、速やかに公表いたします。

以上